

# 学部・学科および研究科・専攻ごとの目的

## 現代ライフ学部

### 【学部の目的】

現代ライフ学部は、本学の建学の精神に則り、多様化する現代社会の要請に応え、様々な専門分野で活躍できる人材の養成を目的とする。

### 【学科の目的】

人間文化学科	建学の精神及び現代ライフ学部の目的に則り、幅広い視野と国際感覚をもった人材を養成する。
経営マネジメント学科	建学の精神及び現代ライフ学部の目的に則り、多様化する現代社会の要請に応えるため、専門知識や技能を修得し実践的に活用できる人材を養成する。
児童学科	建学の精神及び現代ライフ学部の目的に則り、専門家として幅広い能力を身につけ、子どものエキスパートとなる人材を養成する。
観光経営学科	建学の精神及び現代ライフ学部の目的に則り、観光産業人として相応しい幅広い専門知識、応用力、実践能力、英語力を取得し、実社会で通用するビジネスセンスを身につけた人材を養成する。
経営マネジメント学科 (通信教育課程)	建学の精神及び現代ライフ学部の目的に則り、多様化する現代社会の要請と大学通信教育の特性を鑑み、幅広い教養と専門的な知識・技能を修得し実践的に活用できる人材を養成する。

## 健康メディカル学部

### 【学部の目的】

健康メディカル学部は、本学の建学の精神に則り、高度医療を担う一員に必要な専門的知識と技術及び態度を身につけ、さらに教養豊かな人間性を涵養することを目的とする。

### 【学科の目的】

理学療法学科	建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、幅広い教養と高度な専門知識を有し、小児から高齢者までの対象者に対応できる人間性を備えた理学療法士を養成する。
作業療法学科	建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、他職種とも連携しながら作業療法対象者のニーズに応え、社会貢献できる作業療法士を養成する。
言語聴覚学科	建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、豊かな人間性を有し、言語聴覚障害に関する専門的知識と技能を身につけ社会に貢献できる言語聴覚士を養成する。
臨床心理学科	建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、「人間の心」と「心の健康の支援」について深く学び、良好な人間関係を築く力を養い、豊かな社会作りに貢献できる人材を養成する。
健康栄養学科	建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、栄養に関する高度な専門知識・実践力を身につけ、社会のさまざまな分野で活躍できる管理栄養士を養成する。
医療科学科	建学の精神及び健康メディカル学部の目的に則り、医学・工学を理論的に深く考える力を育て、社会のニーズに対応し、広い視野で物事を捉え行動できる力を育て、豊かな人間性を形成するとともに専門知識と技術を習得し、地域医療及び社会に貢献できる有能な人材を養成する。

## ヒューマンケア学部

### 【学部の目的】

ヒューマンケア学部は、本学の建学の精神に則り、進歩を続ける医療技術や変化する社会情勢に対応して、医療・保健・福祉などの分野で活躍できる人材の養成を目的とする。

### 【学科の目的】

看護学科	建学の精神及びヒューマンケア学部の目的に則り、人々の健康維持増進、疾病からの回復、生命の誕生に貢献する質の高い能力を有する保健師、助産師、看護師を養成する。
柔道整復学科	建学の精神及びヒューマンケア学部の目的に則り、健康医療関連の専門職業人としての質の高い能力を身につけ、豊かな人間性と倫理観を備えた柔道整復師を養成する。
鍼灸学科	建学の精神及びヒューマンケア学部の目的に則り、健康医療関連の専門職業人としての質の高い能力を身につけたはり師・きゅう師を養成する。

## 薬学部

### 【学部の目的】

薬学部は、本学の建学の精神に則り、医療職としての使命感、及び社会への広い視野を備え、薬物療法の専門職として人と社会に貢献できる薬剤師の養成を目的とする。

## 健康医療スポーツ学部

### 【学部の目的】

健康医療スポーツ学部は、本学の建学の精神に則り、地域における総合的な健康づくりの推進力となる人材や、将来的に指導者となりうる人材の養成を目的とする。

### 【学科の目的】

理学療法学科	建学の精神及び健康医療スポーツ学部の目的に則り、理学療法の知識と技術を学びながら、社会性の高い安全な理学療法が実践できる理学療法士を養成する。
作業療法学科	建学の精神及び健康医療スポーツ学部の目的に則り、さまざまな障害について、対象者の生活の側面から活動や社会参加の促進に向けた援助ができる作業療法士を養成する。
柔道整復学科	柔道整復学科は、建学の精神及び健康医療スポーツ学部の目的に則り、科学的知識と倫理的判断力に基づく専門職の役割を理解できる人間性豊かな柔道整復師を養成する。
医療スポーツ学科	建学の精神及び健康医療スポーツ学部の目的に則り、習得した知識や技術を基盤に、日進月歩の医療技術に的確に対応でき、指導的な役割が果たせる救急救命士及びスポーツ医科学に基づいた障害予防や身体ケアの専門的知識・技術を持ったトレーナーを養成する。
看護学科	建学の精神及び健康医療スポーツ学部の目的に則り、個人・家族・集団・社会のニーズに専門的知識と技術によつて的確に応え、感性豊かで創造的なケアを実践できる保健師、助産師、看護師を養成する。

## 助産別科

### 【別科の目的】

本別科は、建学の精神に則り、豊かな人間性と柔軟なものの考え方ができ、人の一生を通じて性と生殖をめぐる健康問題に全人的な支援を行い、新しい生命の誕生に確かな技術と真心で応えることのできる助産師を養成することを目的とする。

## 大学院 環境情報学研究科（通信制を含む）

### 【研究科の目的】

環境情報学研究科は、本学の建学の精神に則り、社会の要請に応える高度の情報学の専門性と実践力を持ち、学際的な多様な分野で幅広い統合的な学識を合わせもつ指導者・研究者の養成を目的とする。

## 大学院 健康科学研究科

### 【研究科の目的】

健康科学研究科は、本学の建学の精神に則り、健康科学及び臨床心理学の分野における高度専門職業人、各専門分野の教育者・指導者、研究者の養成を目的とする。

### 【専攻の目的】

理学療法学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、豊かな人間性と倫理観をベースとして、リハビリテーション医療、理学療法を確立する意欲と独創性を備えた研究者、理学療法分野における研究能力や医療技術を修得した高度医療専門職、研究推進能力と教育実践能力をもった医療系教員を養成する。
作業療法学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、病気や障がいのある人々の自立(律)的な生活支援をテーマとし、既存の学問領域にとらわれることなく、その教育・研究を通じて人々の「健康の維持増進」や「障害予防」に寄与、貢献できる高度専門職業人、教育者、研究者を養成する。
言語聴覚学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、高い倫理観と責任感、及び社会に貢献できる広い視野を有し、言語聴覚障がいに関する専門的知識と研究能力、実践能力を身につけ、言語聴覚学領域において指導的役割を担うことができる臨床家、教育者、研究者を養成する。
健康栄養学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、食・栄養・健康に関する高度で専門的な知識と能力を修得し、それらを応用し、栄養学、食品学、予防医学、臨床医学などの分野において、高い倫理観と社会貢献の志を持って活躍できる高度専門職業人、教育者、研究者を養成する。
病院前救急医療学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、高度な病院前救急医療分野における専門知識と、研究能力、実践能力を身につけた救急救命士のリーダーとして活躍できる高度専門職業人、教育者、研究者を養成する。



柔道整復学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、伝統的施術法を西洋医学的な知識や方法論を取り入れて科学的に検証し、得られた知見を臨床現場にフィードバックできる高度専門職業人、かつ優れた教育者、研究者としての資質を持った人材を養成する。
鍼灸学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、広い視野に立って精深な学識を身につけ、鍼灸学分野における研究能力を備えた研究者、高度の専門性が求められる鍼灸臨床を担う専門職業人、教育者を養成する。
臨床心理学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、高い倫理観と旺盛な探求心を持ち、臨床心理学の実践方法の開発・発展に寄与する研究課題について、科学的で実証的な方法論を身につけ、創造的に問題解明に取り組むことができる研究能力を備えた高度専門職業人、教育者、研究者を養成する。
健康科学専攻	建学の精神及び健康科学研究科の目的に則り、健康に関わる諸問題に対し複眼的な視点から研究を行うことができる高度専門職業人、各専門分野の研究者、研究能力を有する教育者・指導者を養成する。

## 大学院 臨床心理学研究科（専門職学位課程）

### 【研究科の目的】

臨床心理学研究科は、本学の建学の精神に則り、専門職学位課程として、実学の精神を基として、豊かな人間性を持ち、多様で複雑な心の問題に創造的で柔軟に対応できる臨床心理分野の高度専門職業人を養成する。

## 大学院 薬学研究科

### 【研究科の目的】

薬学研究科は、本学の建学の精神に則り、医療人としての使命感、および社会への広い視野を備え、医薬品の開発、使用、評価に関する薬学専門分野の基礎・応用研究の実践によって、人と社会に貢献する pharmacist-scientist を養成する。

## 大学院 看護学研究科

### 【研究科の目的】

看護学研究科は、本学の建学の精神に則り、母性や小児期・学童期に至る看護・保健領域について、少子化社会の課題を広く理解し、その研究課題を検討するとともに、研究結果を自らの現場で実践できる看護人材を養成する。